

令和 2 年度 仕 様 書

委 託 名	背戸原橋橋梁定期点検業務委託
委託箇所	秩父郡小鹿野町 三山 地内
委 託 大 要	橋梁定期点検 1 橋

積算情報書

委託名	令和 2 年度 背戸原橋橋梁定期点検業務委託
変更回数	
諸経費区分	公共委託 令和元年度
工種区分	設計業務
単価適用年月日	令和02年07月01日付 公共
単価地区	秩父(秩父県土整備)
機損適用年月日	令和元年10月以降適用
歩掛適用年月日	令和元年10月 公共委託
備考	

業務委託料内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
設計業務01	1	式			K0003
直接原価	1	式			H20510
直接原価(積上)	1	式			P10000
計画準備	1	式			E 1号 I0001
定期点検	1	式			E 2号 I0003
報告書作成	1	式			E 3号 I0004
点検2巡目以降に適用 設計協議	1	橋			E 4号 I0005
直接経費	1	式			H20600
旅費交通費	1	式			H20710
連絡車(ライトバン)運転費	1	日			代 1号 GSS1010-0001
橋梁点検車運転 BT-200相当	1	日			E 10号 I0010
交通誘導警備員B	1	人			TR0804
電子成果品作成費(率計上分)	1	式			Q20801
直接原価計	1	式			Q20620
その他原価	1	式			Q20541
業務原価	1	式			H20500
一般管理費等	1	式			Q20531
設計業務価格	1	式			H00400
消費税等相当額	1	式			Q00401

第 10 号 E 代価

橋梁点検車運転 BT-200相当

1 日 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
一般運転手		人			TR0115
軽油 1.2号		l			TZ006702002
橋梁点検車 作業高約6m 積載質量200kg 建設物価2020.8P807		日			L0001
道路橋定期点検業務積算資料(暫定版) H31.2 国土交通省道路局					
計					P0000001
単位当たり					P0000002

橋 梁 点 検 業 務 委 託
特 記 仕 様 書
第 1 章 総 則

1 適 用

この特記仕様書は2巡目以降の橋梁点検業務委託に適用するものとし、この特記仕様書に定めのない事項については、埼玉県土木設計業務共通仕様書等によらなければならない。

2 業務目的

本業務は、小鹿野町が所管する橋長2m以上の橋梁について、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るための橋梁に係る維持管理を効率的に行うために必要な情報を得ることを目的に実施し、損傷状況の把握、対策区分の判定、点検結果の記録を行うこととする。

3 対象橋梁

本業務の点検対象橋梁は、別表のとおりとする。

4 管理技術者等

(1) 管理技術者は、橋梁の点検及び橋梁設計に関わる十分な実務経験を有するもので下記に定める要件を満たすものとする。

①技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート）但し、平成13年度以降の試験合格者については、7年以上の実務経験を有し、かつ該当部門に4年以上の従事したもの。

②上記にあわせて道路橋点検士（一般財団法人橋梁調査会）の資格を有するものとする。

(2) 照査技術者は、管理技術者と同等の要件を満たすものとし、兼務することは出来ない。

(3) 橋梁点検員は、点検作業班を統括し、安全管理について留意して各作業員の行動を把握するとともに、点検補助員との連絡を密にして点検調査を実施する。正副2名を選定のこととする。損傷状況の把握を行うのに必要な以下の能力と実務経験を有するもので下記に定める要件を満たすものとする。

①橋梁点検に関する技術と実務経験を有すること。

②上記にあわせて道路橋点検士（一般財団法人橋梁調査会）の資格を有するもの。

(4) 橋梁診断員は、点検結果から対策区分の診断を行うものとし以下の能力と実務経験を有するもので下記に定める要件を満たすものとする。要件を満たせば橋梁点検員と兼務することが出来る。

①橋梁の設計、施工に関する実務経験と知識を有すること。

②橋梁点検に関する技術と実務経験を有すること。

③道路橋点検士（一般財団法人橋梁調査会）の資格を有するもの。

④上記に加えて以下のいずれかの資格を有すること。

技術士（建設：鋼構造及びコンクリート）、RCCM（鋼構造及びコンクリート）、上級土木技術者（橋梁）

(5) 契約者は下記の業務実施に当たるものの、資格証の写し及び「点検修了証」の写しともに社員である公的証明として保険証の写しを契約時に提出しなければならない。

7 中間成果の報告

監督員より中間成果の提出を求められた場合、速やかに提出するものとする。

8 成果品の提出

(1)橋梁点検

報告書は点検結果を「定期点検要領」に定める点検調書を作成し、取りまとめるものとする。

①点検報告書

②現場写真集

③電子データ

デジタルデータで取得できる成果は、電子記憶媒体（CD-R 又は CD-RW）に記録し提出するものとする。

(2)その他監督員が指示した資料

9 打合せ

(1)打合せは、以下の区切りにおいて行うものとし、回数は3回とする。

① 業務着手時

② 点検概略結果報告

③ 点検結果最終報告

(2)業務に関する打合せ記録の整理は、受注者が行うものとし、打合せ後速やかに提出するものとする。

(3)業務着手時及び業務完了時には、原則、管理技術者が立ち会うこととする。

10 貸与資料

委託者が貸与する資料は、次のとおりとする。

(1)橋梁台帳の写し

(2)過去の橋梁点検報告書及び電子データ

(3)その他業務履行上必要な発注者の所有する資料

11 安全管理

受注者は交通状況や橋下の状況に即した適切な保安施設を設けるなどして、安全管理に努めるものとする。

12 沿道対応

本業務中に、沿道住民及び道路利用者から苦情のあった場合には、受託者において、誠実、丁寧に対応するものとし、その結果を監督員に報告するものとする。

13 疑義

受託者は、業務の実施にあたり疑義が生じた場合には、監督員と協議するものとする。

14 その他

(1)業務上知り得た事項を漏らしてはならない。

(2)点検実施により、詳細調査が必要と想定される場合はその都度、必要な調査の内容と理由、及び調査費用の概算額を提示すること。

第2章 業務概要

15 本業務の概要は以下の通りとする。

- 1)計画準備
- 2)現地踏査
- 3)形状計測
- 4)定期点検
- 5)点検調書作成
- 6)損傷程度の評価
- 7)対策区分の判定
- 8)報告書作成
- 9)打合せ (3回)

第3章 橋梁点検

16 計画準備

業務計画書

- ①受注者は、契約後すみやかに橋梁点検や橋梁診断の実施体制を整え、本業務に必要な資料収集、現地における点検計画の方法を検討し、業務計画書を監督員へ提出するものとする。
- ②現地踏査の結果等により、業務計画の内容に変更が生じた場合は、変更業務計画書を提出するものとする。

17 現地踏査

- (1)橋梁点検に先立って現地踏査を行い、橋梁の変状（劣化、損傷等）程度を把握するほか、現地の交通状況、点検に伴う交通規制の方法等について現地の状況を調査記録するものとする。
- (2)排水枿あるいは支承周辺の土砂詰まりや不法占用者が橋下に存在して、点検作業に支障がある場合には、監督員と協議すること。

18 形状計測

損傷図の作成にあたっては、既存資料を活用するとともに、現地で主たる部材の寸法等を確認して行うものとする。

19 点検要領

本業務は、「道路橋梁定期点検要領 平成 31 年 2 月 国土交通省道路局」（以下「道路橋定期点検要領」という）に基づき実施するものとする。

20 定期点検

本業務の実施に際しては、下記の事項について点検・診断及び資料の作成を行うものとする。

(1) 近接目視点検

梯子、脚立等を利用し、比較的橋梁の部材に近接し目視点検を行うものとする。必要に応じて、機械、用具を用いて点検するものとする。点検を実際に行う際に、架橋位置の地形、交通状況、交差物件、障害物等によって、実施困難な場合には、監督員と協議するものとする。

21 点検調書作成

- (1) 点検結果をもとに、「道路橋定期点検要領」に定める「別紙 3 点検表記録（下記書式①）」及び「様式(その 2)（下記書式②）」を橋梁毎に作成するが、本特記仕様に定める以下の調査票を付加するものとする。

下記書式：③損傷調書、④損傷図／現場状況写真、⑤損傷写真

◎データ提出 1) 書式①②・・・・・・・・・・Microsoft Excel、PDF

2) 書式①②③④⑤・・・・・・・・・・Microsoft Excel

※橋梁毎に 1 つのファイルにまとめること(各書式をシートで分ける)。

- (2) 損傷調書の作成に当たっては、「橋梁定期点検要領 平成 31 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課」を参考として、調書作成を行うものとする。
- (3) 点検によって緊急対応が必要と判断される損傷等を発見した場合は、直ちに監督員に報告するものとする。
- (4) 橋梁の取り付け部分が擁壁構造になっている場合には、その擁壁部分の点検も合わせて実施すること。但し、記録様式は受注者が任意の様式を作成してよいものとする。

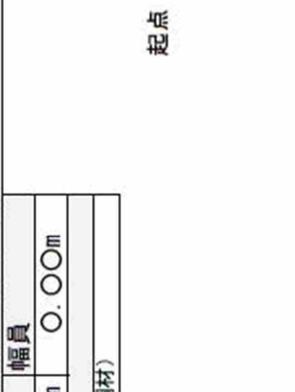
22 報告書作成

上記結果を点検調書として報告書として作成するが、過年度成果との整合性に留意して行うものとする。また、下記書式「⑥点検結果一覧表」を作成すること。

【書式（記入例）】

①点検表記録様式（その1）（Excel/A4）

様式1

別紙2 様式1様式2		路線名		所在地		起点側		緯度		橋梁ID	
橋梁名・所在地・管理者名等		町道〇〇号線		埼玉県秩父郡小鹿野町〇〇0000番地先		自専道or一般道		〇〇° 〇〇' 〇〇.〇〇〇"		〇〇.〇〇〇〇〇.〇〇〇.〇〇〇〇〇〇	
〇〇橋 (フリガナ) (〇〇ハン)		定期点検実施年月日		路下条件		代替路の有無		〇〇° 〇〇' 〇〇.〇〇〇"		〇〇.〇〇〇〇〇.〇〇〇.〇〇〇〇〇〇	
管理者名		20〇〇.〇.〇〇		〇〇川		有		〇〇		〇〇	
埼玉県秩父郡小鹿野町						一般道		〇〇		〇〇	
						その他		〇〇		〇〇	
						水道管		〇〇		〇〇	
<p>部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)</p> <p>定期点検時に記録</p> <p>応急措置後に記録</p>											
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日					
上部構造	I										
横桁	I										
床版	I										
下部構造	I										
支承部	I										
その他	II	路面の凹凸	写真01 舗装00								
<p>道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)</p> <p>定期点検時に記録</p> <p>(判定区分) (所見等)</p> <p>I 本橋は〇〇年竣工の鋼単純合成H鋼桁橋である。架設から〇〇年が経過し今回は2巡目の点検となり以下の損傷が見受けられた。</p>											
全景写真(起点側、終点側を記載すること)											
架設年次	橋長	幅員									
〇〇年	〇.〇〇m	〇.〇〇m									
橋梁形式											
鋼単純合成H鋼桁(耐腐性鋼材)											
											
											
	<p>起点</p> <p>終点</p>										

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

②点検表記録様式（その2） (Excel/A4)

様式2

別紙2 様式1様式2
 状況写真(損傷状況)
 ○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
 ○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。
 その他(舗装)【判定区分:Ⅱ】

写真01



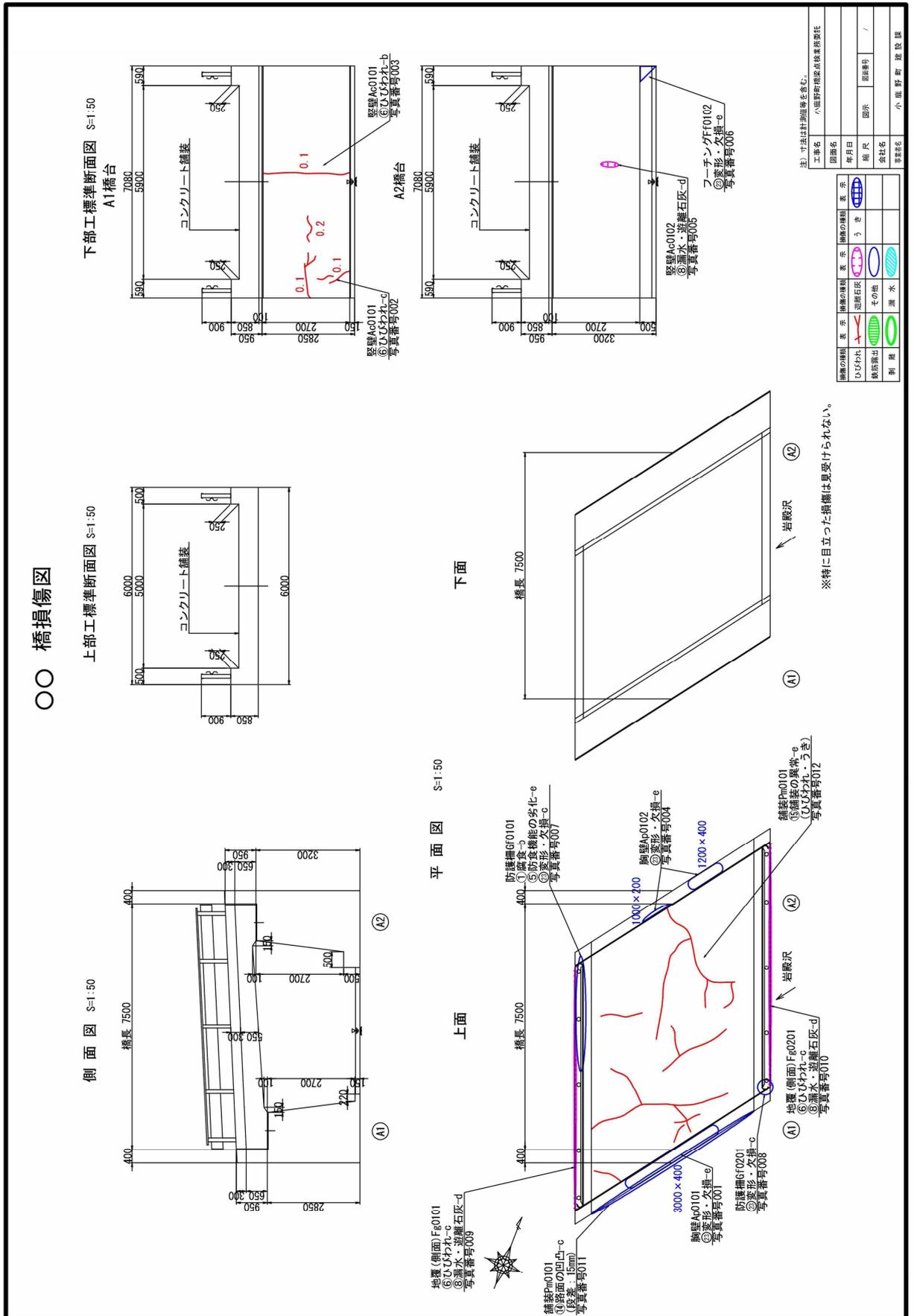
舗装00

<p>【判定区分:】</p>	<p>【判定区分:】</p>
<p>【判定区分:】</p>	<p>【判定区分:】</p>

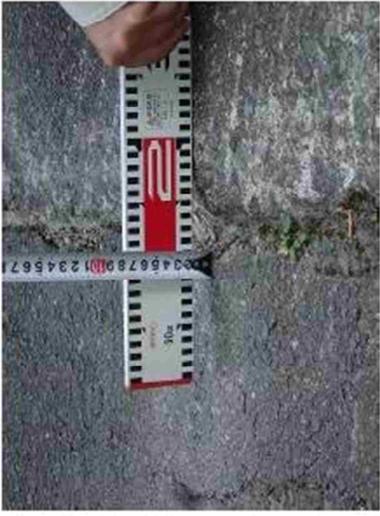
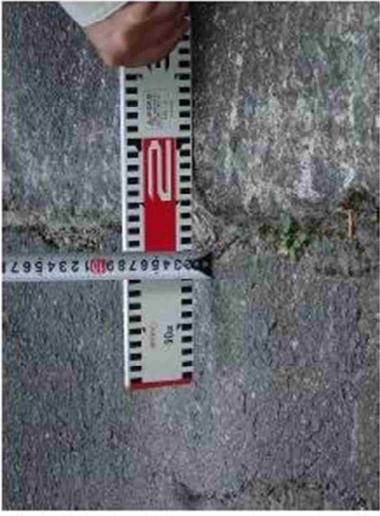
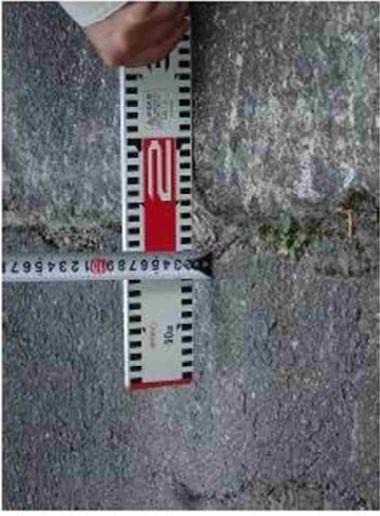
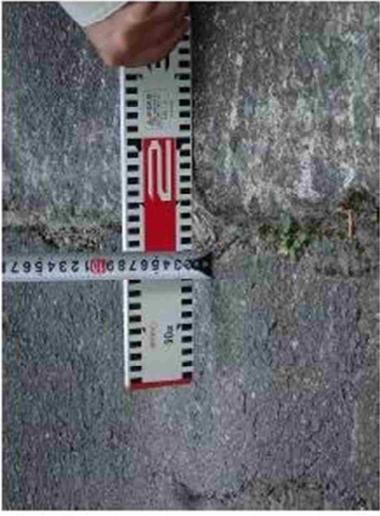
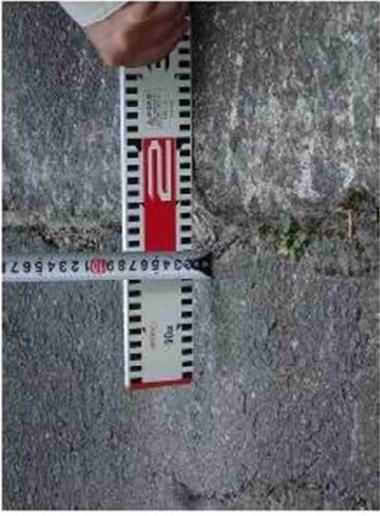
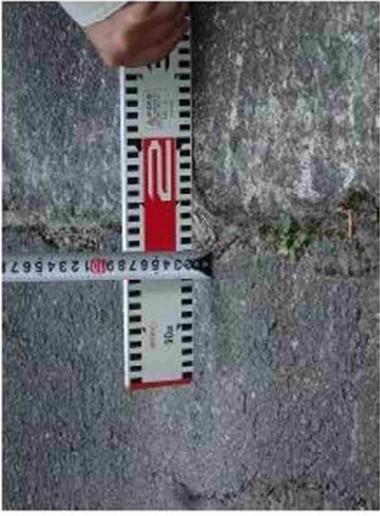
③損傷調書 (Excel/A4)

調査結果		整理番号	49	橋梁名	○○橋	上部工構造形式	RC床版橋	調査年	2017																					
総合所見	健全度 (橋単位)	II																												
	車高の繰返し荷重が原因と推定される橋台上面の欠損(写真01)、舗装のひびわれ(写真02)は、利用者の転倒及び水の浸入等による橋梁本体への影響が懸念されるため、予防保全の観点から次回点検時までに補修を行う必要がある。 橋台のひびわれ、防護柵の腐食、変形、地覆の遊離石灰を伴うひびわれ等は、局部的損傷であるため、状況に応じて補修を行う必要がある。																													
損傷の項目等	網部材の損傷		その他の損傷			共通の損傷				対策区分判定	健全度(部材単位)																			
	①腐食	②亀裂	③ゆるみ・脱落	④破断	⑤防食機能の劣化	⑥ひびわれ	⑦剥離・鉄筋露出	⑧漏水・遊離石灰	⑨抜け落ち			⑩床版ひびわれ	⑪うき	⑬逆間の異常	⑭路面の凹凸	⑮舗装の異常	⑯支承部の機能障害	⑰その他	⑩補修・補強材の損傷	⑱定着部の異常	⑲変色・劣化	⑳漏水・滞水	㉑異常な音・振動	㉒異常なたわみ	㉓変形・欠損	㉔土砂詰まり	㉕沈下・移動・傾斜	㉖洗堀		
	主桁	01	-	-	-	a	a	a	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I
	下部工	01	-	-	-	c	a	a	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II
		02	-	-	-	-	a	d	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II
	支承	0101	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I
		0102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I
	高欄・防護柵	00	b	-	-	-	-	-	-	e	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I
	地覆	00	-	-	-	-	-	a	d	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I
	伸縮装置	00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I
	舗装	00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	c	e	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II
	備考																													

④ 損傷図 (Excel/A4)



⑤ 損傷写真／現場状況写真 (Excel/A4)

損傷写真／現場状況写真		径間番号		1		機梁ID		-			
フリガナ ○キヨウ ○橋	○キヨウ ○橋	経度 緯度	緯度 経度	起点側	終点側	経度 緯度	経度 緯度	機梁ID	-		
所在地	所在地	管轄		埼玉県 小鹿野町		橋梁コード					
経度 緯度	経度 緯度	経度 緯度		経度 緯度		経度 緯度		2019年○月○日	2019年○月○日		
経度 緯度	経度 緯度	経度 緯度		経度 緯度		経度 緯度		2019年○月○日	2019年○月○日		
写真番号	9	径間番号	1	撮影年月日	2019年○月○日	写真番号	10	径間番号	1	撮影年月日	2019年○月○日
部材名	地覆	要索番号	0101	メモ		部材名	地覆	要索番号	0201	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	下流側地覆側面にひびわれ、遊離石灰が見られる。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	上流側地覆側面にひびわれ、遊離石灰が見られる。	
写真		写真		写真		写真		写真		写真	
											
写真番号	11	径間番号	1	撮影年月日	2019年○月○日	写真番号	12	径間番号	1	撮影年月日	2019年○月○日
部材名	舗装	要索番号	0101	メモ		部材名	舗装	要索番号	0101	メモ	
損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	c	A1側背面舗装に段差が見られる。		損傷の種類	舗装の異常	損傷程度	e	コンクリート舗装にひびわれ、うきが見られる。	
写真		写真		写真		写真		写真		写真	
											
損傷写真		損傷写真		損傷写真		損傷写真		損傷写真		損傷写真	
段差：15mm		段差：15mm		段差：15mm		段差：15mm		段差：15mm		段差：15mm	

⑥点検結果一覧表 (Excel/A3)

橋梁点検結果一覧表

No	径間番号	橋梁名	路線名	完成年度(西暦)	橋長(m)	幅員(m)	有効幅員(m)	交差物	緯度	経度	上部工種別(径間毎)	点検年度(西暦)	点検結果		対照区分の判定(上段)		対照区分の判定(下段)		道路種別の診断		備考		
													主桁	支保構	基礎	橋台	橋脚	橋面	橋梁	中央		橋脚	橋脚
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							

【参 考】

※診断者資格で上記から鋼橋とコンクリート橋の両用できないもの、ローカルなものは特記仕様書内の資格から除外した。

登録資格一覧

施設分野	資格名称	点検	診断	資格付与事業及び事務を行う事務所
橋梁(鋼橋)	道路橋点検士	○		橋梁調査会
	RCCM(鋼構造及びコンクリート)	○	○	建設コンサルタンツ協会
	一級構造物診断士	○		日本構造物診断技術協会
	二級構造物診断士	○		日本構造物診断技術協会
	土木鋼構造診断士	○	○	日本鋼構造協会土木鋼構造診断士特別委員会
	土木鋼構造診断士補	○		日本鋼構造協会土木鋼構造診断士特別委員会
	上級土木技術者(橋梁)コースB	○	○	土木学会技術推進機構
	1級土木技術者(橋梁)コースB	○		土木学会技術推進機構
	特定道守コース	○	○	長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
	道守コース	○	○	長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
道守補コース	○		長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター	
橋梁(コンクリート橋)	道路橋点検士	○		橋梁調査会
	RCCM(鋼構造及びコンクリート)	○	○	建設コンサルタンツ協会
	一級構造物診断士	○		日本構造物診断技術協会
	二級構造物診断士	○		日本構造物診断技術協会
	コンクリート構造診断士	○	○	プレストレストコンクリート工学会
	プレストレストコンクリート技士	○		プレストレストコンクリート工学会
	上級土木技術者(橋梁)コースB	○	○	土木学会技術推進機構
	1級土木技術者(橋梁)コースB	○		土木学会技術推進機構
	コンクリート診断士	○		日本コンクリート工学会
	特定道守コース	○	○	長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
	道守コース	○	○	長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
	道守補コース	○		長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター

国交省登録技術者資格(平成27年3月26日)インフラの点検・診断に役立つ技術や知識を備えられる民間資格